

本 会 記 事

会 告	2026年秋期(第179回)講演大会参加申込について	592
	2026年秋期講演大会各種シンポジウムのご案内	594
	2026年秋期講演日本金属学会・日本鉄鋼協会合同懇親会開催のご案内	595
	第8回自動車関連材料合同シンポジウム開催案内	596
	2026年秋期講演大会関連広告募集	597
	2026年秋期講演大会会期中の託児室設置のお知らせ	598
	第15回女性会員のつどい開催のご案内	598
	講演大会アーカイブサイトログイン仕様変更のお知らせ	598
	第50回技術開発賞「新技術・新製品」記事募集	599
	第77回金属組織写真賞作品募集のご案内について	600
	2027年度若手研究グループ新規申請募集	600
	「研究会」新規・更新申請募集	600
	2027年度金属学会シンポジウムのテーマ募集	604
	2027年春期講演大会企画/公募シンポジウムテーマ提案募集	604

	金属学会講習会 開催案内	605
	日本金属学会オンライン教育講座開催案内	606
	オンデマンド配信：オンライン教育講座開催案内	607
	掲示板	601
	会誌・欧文誌 8 号目次	612
	次号予告	613
	新入会員	613
	行事カレンダー	614

◎本会へのお問合せは下記URLをご利用下さい。

<https://jimm.jp/contact/>

- ・投稿規程・出版案内・入会申込はホームページをご利用下さい。
- ・支部行事、掲示板、研究集会等の情報は、ホームページにも掲載しております。
- ・会員特典による「まてりあ」「Materials Transactions」の電子版の閲覧には、会員マイページにあるIDとパスワードが必要です。

会 告 (ホームページもご参照下さい)

※2026年秋期講演大会参加をご検討の方へのお願い

9月の連休の影響および秋田市内のホテルの数に限りがあるため、秋田市内のホテル予約が取り難い状況となっております。各自において、お早めにホテル予約をお手配下さいますようお願い申し上げます。尚、本会では宿泊手配の補助などを行っておりませんので予めご了承下さい。また、旅程や宿泊の都合による講演日時の希望は承れませんのでご了承下さい。

2026年秋期(第179回)講演大会ご案内と参加申込について

2026年秋期講演大会を、9月23日(水・祝)から25日(金)まで、秋田大学手形キャンパスで開催します。
参加申込みは、すべてインターネットでの申込みです。詳細は、下記参加申込要領をご確認下さい。

～ 講演大会日程(会期は3日間になります) ～

日 時	行 事
9月23日(水・祝) 9:00～ 9:40 午後(予定) ※応募件数によっては午前開始となる場合もございます。 10:00～17:00 18:30～20:30	開会の辞、贈呈式 ポスターセッション、高校生ポスターセッション シンポジウム講演(一般講演は行いません) 懇親会
9月24日(木) 9:00～18:00	学術講演
9月25日(金) 9:00～17:00	学術講演

◆懇親会

開催日時：2026年9月23日(水・祝) 18:30～20:30 (予定)
開催場所・料金：本号595ページをご覧ください。

- ◆各シンポジウム講演・学術講演・ポスターセッション・ランチョンセミナー開催予定
- ◆学生ポスター発表プレ討論会開催予定：詳細は、7号533頁をご覧ください。
- ◆講演大会会場周辺のご案内：7号535頁をご覧ください。

～講演大会参加申込～

◆申込の種別と申込期間

- (注意1：会員の方で、本年度会費未納の方は参加申込ができません。)
(注意2：締切日までに入金がない場合は、キャンセル扱いとなります。)
- 1) 事前申込(8月31日(月)の参加費納付をもって事前参加申込完了となります。)
申込期間：2026年5月27日(水)～8月31日(月)
 - 2) 後期(当日)申込
申込期間：2026年9月1日(火)～9月25日(金)
 - 3) 相互聴講(鉄鋼協会参加者 現地申込のみ)
申込期間：2026年9月23日(水・祝)～25日(金)

- ◆申込サイト：<https://jimm.smoosy.atlas.jp/mypage/login> (A-pass 作成またはログイン後、申込開始。)
*注意：会員の方は、年会費納入が完了していないと申し込みができません。

◆決済方法：クレジットカード、銀行振込

◆大会参加費(講演概要ダウンロード権含む)および登壇費 ※年会費とは異なります。

参加費・懇親会の消費税の取扱いは、ホームページ(一覧表 PDF)をご参照下さい。

会 員 資 格	事前参加申込 (2026年8月31日 まで)	後期(当日)申込 (2026年9月1日 ～9月25日)	相互聴講 (会期中のみ)
正員	15,000円	18,000円	—
非会員の維持員会社社員	15,000円	18,000円	—
非会員のシンポジウム共催・協賛の学協会会員	15,000円	18,000円	—
2026年3月1日時点で65歳以上の個人会員*1	無 料	無 料	—
学生員*2	6,000円	7,000円	—
ユース会員*3(中高生会員、高専専科1年生以下、大学3年生以下)	無 料	無 料	—
非会員*4 一般	29,000円	32,000円	—
非会員*4 学生(大学院生含む)	14,000円	16,000円	—
鉄鋼協会講演大会参加者(一般学生問わず) 講演者は選択できません。	—	—	6,000円

- ・お支払後の取消は、ご返金できませんのでご了承下さい。
- ・期日までに支払いを確認できない場合は、キャンセルとさせていただきます。
- ・領収書は、決済完了後に申込画面(「講演大会 MyPage」)からダウンロードし、印刷して下さい。

*1 **65歳以上の個人会員**：会員情報に生年月日の登録がない場合は課金されます。会員情報に生年月日を登録していない方は、**参加申込みの前に annualm@jimm.jp まで**会員番号・氏名・連絡先・生年月日をお知らせ下さい。

*2 **学生員**：卒業予定変更等により登録されている会員種別が実際と異なる場合は、**事前に会員種別の変更手続きを行ってから**、大会参加を申込み下さい。会員情報に登録された卒業年次を超えると、自動で正員に変更されています。

*3 **ユース会員が高校生ポスター発表以外で発表する場合は、登壇費5,000円が必要。**

*4 非会員の参加申込者には、春期大会への参加の場合は当該年の3月から12月末まで、秋期大会への参加の場合は当該年の9月から翌年6月末まで会員資格を付与する。ただし特典は重複して付与しません。

◆参加証

「講演大会 MyPage」で「参加証」を印刷し、当日持参して会場に入ってください(受付は不要です)。
*「参加証ケース」をお持ちの方はご持参下さい。ケースが必要な方には受付で配布します。

◆講演概要の閲覧・ダウンロード

公開場所：講演大会ウェブサイト(ログイン必要)

公開日：大会2週間前の**2026年9月9日(水)**(特許関係の手続きは、公開日までに済ませて下さい。)

概要閲覧方法：参加費決済を完了後、「A-Pass」でログインいただくことで、参加者限定ページをご覧いただけます。

◆講演概要集の購入

講演概要集は作成していません。全ての講演概要は、講演大会ポータルサイトで公開をします。これまで概要集のみを購入されていた場合は、大会への参加登録をして、講演大会ウェブサイトから概要を閲覧して下さい。

◆相互聴講申込

鉄鋼協会の講演大会に参加された方は、相互聴講料金で本会の講演大会を聴講できます。

申込資格：日本鉄鋼協会に参加登録された方。(会員資格問わず)

申込方法：講演大会当日に鉄鋼協会講演会場の受付で参加証を受け取った後に、金属学会相互聴講申込サイトで申込みおよび決済完了後、決済済み画面と鉄鋼協会講演大会の参加証を日本金属学会受付に提示して下さい。確認後、参加証に「相互聴講」の押印をします。

(注)鉄鋼協会講演大会の相互聴講は、金属学会の講演大会参加申込を完了した後、鉄鋼協会の相互聴講申込サイトで相互聴講の申込みと決済を行って下さい。(詳細は鉄鋼協会へお問い合わせ下さい。)

◆問合せ先：講演大会係 annualm@jimm.jp

2026年秋期講演大会 各種シンポジウムのご案内

【公募シンポジウム】※

- S1. 界面ナノ構造と機能の材料科学 II
- S2. 最先端蓄電デバイスの材料科学
- S3. 極限環境対応構造材料のためのマテリアル DX(Ⅳ)
- S4. ハイエントロピー合金の材料科学(Ⅷ)
- S5. 材料変形素過程のマルチスケール解析(Ⅸ)
- S6. Additive Manufacturing の材料科学Ⅹ
- S7. 特異反応場における時間/空間応答を利用した新奇材料構造創成Ⅹ

【企画シンポジウム】

- K1. 持続可能なモビリティ社会を実現する材料技術の最新動向
- K2. 量子ビーム時分割測定の実状と展望
- K3. 秋田の鉱山史を語る
- K4. 構造材料のリサイクル技術 ～カーボンニュートラル社会における構造材料発展～

【国際シンポジウム】

- IS1. Frontiers in Structural Materials Research through Advanced Measurement Techniques(IIM-JIMM Joint symposium)

※

【優秀口頭発表賞の実施について】

2026年秋期講演大会より、講演大会の活性化および材料分野の若手研究者の発表を奨励するため、公募シンポジウムにおいて口頭発表賞を実施しております。口頭発表賞の実施については、各テーマ企画責任者の意向によるものとしております。

2026年秋期講演大会 日本金属学会・日本鉄鋼協会合同懇親会開催・参加募集のご案内

2026年秋期講演大会における懇親会を日本鉄鋼協会と合同で下記の通り開催いたします。ご参加を希望される方は、期日までに下記要領にてお申し込み下さい。

開催日時 2026年9月23日(水・祝)18:30-20:30

開催場所 秋田キャッスルホテル 4F「放光の間」
(〒010-0001 秋田市中通 1-3-5 ☎ 018-834-1141)

参加費 予約申込 一般10,000円 同伴者(配偶者同伴の場合) 5,000円
当日申込 一般12,000円 同伴者(配偶者同伴の場合) 5,000円

予約申込期間 2026年5月27日(水)～8月31日(月)

申込方法 ※講演大会参加申込とは別になります。

(1) 講演大会に参加申込される方・された方：以下の流れでお申し込み下さい。

- ①<https://jimm.smoosy.atlas.jp/mypage/login> にログイン
- ②会員・非会員マイページの講演大会「参加・演題登録サイト」ボタンをクリック
- ③初めて大会参加申込する方：大会マイページの参加申込にある「参加申込」
すでに参加登録済みの方：「追加購入」ボタンをクリック
- ④懇親会参加申込を選択して「この内容で登録」で申込完了→支払いへ進む

(2) 懇親会のみにご参加される方(講演大会には参加しない方)

E-mail: annualm@jimm.jp へお問い合わせ下さい。

支払方法

予約申込：上記申込サイトで登録後、大会マイページでオンライン決済をして下さい。銀行振込も可能です。(ただし、2026年8月31日着金とする)

領収書は決済後、大会マイページでダウンロードができます。

当日申込：現金のみでのお支払いとなります。

※お支払後の取消は、準備の都合上ご返金いたしかねますのでご了承下さい。

当日の参加について

〈予約申し込みの方〉

開催当日に懇親会会場の金属学会受付にお越し下さい。懇親会予約申込者の講演大会参加証には「懇親会参加」と表示されますので、講演大会参加証を着用しご来場下さい。当日会場にて参加者名簿をお渡しいたします。懇親会参加のみの方(講演大会に参加しない方)の参加証は、当日会場にてご用意しております。

〈当日申込の方〉

開催当日に懇親会会場の当日受付にてお申込みとお支払いをして下さい。現金のみのお支払いとなります。参加証と参加者名簿をお渡しいたします。

問合先 〒980-8544 仙台市青葉区一番町 1-14-32

(公社)日本金属学会 講演大会係

☎ 022-223-3685 FAX 022-223-6312 E-mail: annualm@jimm.jp

第8回自動車関連材料合同シンポジウムのお知らせ 「持続可能なモビリティ社会を実現する材料技術の最新動向」

秋期講演大会において、第8回自動車関連材料合同シンポジウム「持続可能なモビリティ社会を実現する材料技術の最新動向」(共催：日本金属学会・日本鉄鋼協会、協賛：自動車技術会材料部門委員会・日本塑性加工学会)を下記の通り開催いたします。講演資料は有料で販売いたしますので、ご希望の方は、下記の資料購入方法を参照の上、ご購入下さい。

日 時 2026年9月23日(水・祝)10:30~15:30

会 場 秋田大学 手形キャンパス 教育文化学部3号館 1F-145(日本金属学会A会場)

プログラム

- 座長 大阪大学 安田弘行(10:30~11:50)

10:30-10:35	挨拶	大阪大学 安田 弘行
10:35-11:00	基調講演 「運ぶ」を支える有機材料	いすゞ自動車㈱ 保坂 洋
11:00-11:25	基調講演 クルマづくりの未来を支える鉄鋼の総合ソリューション技術	日本製鉄㈱ 佐藤 浩一
11:25-11:50	基調講演 自動車製造の革新をもたらす種々の固相接合技術と接合分離技術	大阪大学 藤井 英俊
— 昼休 85分 —		

- 座長 東京大学 南部 将一(13:30~15:30)

13:30-13:55	基調講演 多品種少量生産に向けたデータ駆動型の逐次成形技術	㈱豊田中央研究所 佐藤 晴輝
13:55-14:20	基調講演 金属3Dプリンタを活かした合金設計原理とそれに基づくアルミニウムの高機能化	名古屋大学 高田 尚記
— 休憩 15分 —		
14:35-15:00	基調講演 ギガキャストの動向と課題	リョービ㈱ 新田 真
15:00-15:25	基調講演 自動車塗装における持続可能な究極の意匠を目指して	関西ペイント㈱ 藤枝 宗
15:25-15:30	挨拶	東京大学 南部 将一

参加費 無料(資料購入を希望される場合は、下記参照)

資料購入方法 下記のURLにアクセスしてお申し込み下さい。

資料購入URL: <https://forms.gle/E6jBBHaNPYr3QKqi9>

価格: 5,500円/冊(税込)

購入代金のお支払いを確認後、郵送もしくはシンポジウム当日に日本金属学会講演大会総合受付にて資料冊子をお渡しします。なお、総合受付でのお渡し時に決済完了通知メールもしくは領収書の写しを確認しますので、ご持参下さい。また、郵送を希望される場合は、別途送料(380円)が必要です。

資料は20部限定です。なくなり次第、資料の販売を終了します。

参加方法

【日本金属学会講演大会に参加される方】本シンポジウムへの参加登録手続きは不要です。

【日本鉄鋼協会講演大会に参加される方】講演大会概要集「材料とプロセス」を年間予約された方、あるいは前期または後期(当日)申込される方は、本シンポジウムへの参加登録手続きは不要です。

【本シンポジウムのみに参加される方】講演大会への参加登録は不要です。直接会場にお越し下さい。

問合せ先 〒980-8544 仙台市青葉区一番町 1-14-32

(公社)日本金属学会 事務局

☎ 022-223-3685 FAX 022-223-6312 E-mail: secretary_gen@jimm.jp

2026年秋期講演大会
大会ホームページ・バナー広告、
付設展示会、誌上展示会(まてりあ11号)各募集要領

本会2026年秋期講演大会は、9月23日(水・祝)～25(金)の3日間、秋田大学・手形キャンパスにて開催いたします。
 本講演大会にて、各種広告、付設展示会の出展を募集いたします。

■大会ホームページ・バナー広告

掲載期間 2026年7月～(会期終了後もアーカイブで閲覧できます)

アクセス数 約260,000アクセス(約2ヶ月、前回参考値)

サイズ タテ100ピクセル×ヨコ250ピクセル(静止画)

データ形式 静止画のPNG(.png), JPEG(.jpg), GIF(.gif)

リンク先アドレスも合わせてご指定下さい。
 バナーデータ(+リンク先指定)入稿後、1週間程度で掲載させていただきます。

掲載料金 1枠50,000円(税別)
 ※バナーデータ制作費は別途です。
 ※本会維持員様、プログラム広告掲載会社様、付設展示会出展社様は50%OFF。

申込 随時受付いたします。

申込最終締切 8月20日(木)

■付設展示会

展示会会期 9月23日(水・祝)～25(金)9:00～17:00
 ※25日は、13:00まで(予定)
 搬入日:9月22日(火) 14:00～16:00(予定)

展示会場 秋田大学・手形キャンパス

〈機器・書籍展示〉

研究開発用機器、書籍、ソフトウェア等の出展を募集いたします。

1コマ 間口1,800mm、奥行き900mm(予定)
 展示台(テーブル), バックパネル(高さ2100mm×幅1800mm), 椅子をご用意します。
 ※電気使用容量を制限する場合がございます。
 (例:1コマ100Wまで)
 ※テーブルクロス, ライトの準備はございません。

出展料金 機器展示:1コマ 140,000円(税別)
 書籍展示:1コマ 90,000円(税別)
 出版社様限定

申込締切 8月20日(木)
 ※規定数に達し次第、先着順に締切ります。

〈カタログ展示〉

展示部数 2点(A4サイズ, 8頁以内)につき, 30部以内

出展料金 2点につき30,000円(税別)(1点増すごとに10,000円(税別)追加)

申込締切 8月20日(木)

■まてりあ11号・誌上展示会

付設展示会のフォローアップ広告を募集いたします。

発行予定日 11月1日(日)

掲載料金 1枠(1/4頁) ¥28,000(税別)

申込締切 9月30日(水)

広告原稿締切 9月30日(水)

※本広告企画は、付設展示会に出展されていない企業様も出稿できます。

上記の他、ランチョンセミナー、学生キャリアサポート企画等の協賛メニューは、下記までお問い合わせ下さい。

■申込・問合せ先

〒104-0061 東京都中央区銀座7-12-4
 友野本社ビル7F
 株式会社 明報社
 (担当:月岡太郎 または、営業担当者まで)
 ☎ 03-3546-1337 FAX 03-3546-6306
 E-mail: tsukioka@meihosha.co.jp
 (または営業担当のアドレスまで)
 URL: http://www.meihosha.co.jp





2026年秋期講演大会会期中の託児室設置の お知らせ

2026年秋期講演大会期間中、日本金属学会と日本鉄鋼協会が共同で託児室を開設いたします。利用ご希望の方はホームページ掲載の託児室利用規約をご確認の上「託児室利用申込フォーム」にご入力頂き、下記シッター会社へ直接お申し込み下さい。

設置期間および利用時間(開始、終了時間は予定です)

設置期間	利用時間
2026年9月23日(水・祝)	8:30～17:30
9月24日(木)	8:30～18:00
9月25日(金)	8:30～17:00

場所 秋田大学キャンパス内(申込者へ直接ご連絡します)

対象・利用料金 0歳1か月(1か月検診終了後より)

～小学6年生 無料

利用シッター会社 NPO法人「ここはぐ」

申込方法

- 日本金属学会・日本鉄鋼協会ホームページ託児室案内の託児室利用規程をご確認の上、申込専用サイト(<https://forms.gle/vLxfXumxaqSrgFyBA>)に必要な事項を入力の上お申し込み下さい。

- シッター業社からの返信をもって受付完了となります。

※申込受領後3営業日以内に、NPO法人「ここはぐ」より返信メールをお送りします。

申込期間 **2026年8月1日(土)10時～9月16日(水)まで**

(定員に達し次第締め切らせて頂きます)

申込・問合せ先 NPO法人「ここはぐ」

担当)小田嶋麻貴子

☎ 070-1148-5589

E-mail: kokohug.akita@gmail.com

*託児室利用規程はホームページにご覧いただけます。



日本鉄鋼協会・日本金属学会 第15回女性会員のつどいのご案内

講演大会期間中、以下の日程で女性会員のつどいを行います。まだまだ少ない女性会員同士、気軽に意見交換をして楽しいひとときを過ごしませんか。

主催 日本鉄鋼協会・日本金属学会男女共同参画委員会
日時 **2026年9月25日(金)12:00～13:00**
会場 秋田大学 国際資源学部1号館3階S301
内容 女性会員の交流・人脈作り。キャリアデザイン意見交換。職場の環境や人間関係で困ったこと等本音トーク。学会への要望。などなど

参加資格 鉄鋼協会・金属学会の女性会員、女子学生

参加申込 申込みは不要です。直接、会場へお越し下さい。ささやかですがお菓子を準備してお待ちしています。お弁当・お茶の用意はございませんので、必要な方はご持参下さい。

問合せ先 日本鉄鋼協会・日本金属学会 男女共同参画委員会委員長 大出真知子

E-mail: ODE.Machiko[at]nims.go.jp

※[at]は@マークに置き換えて下さい。

日本鉄鋼協会と日本金属学会が合同で設置した男女共同参画合同委員会は、2007年から継続して活動を行っており、来年で20周年を迎えます。学会期間中の託児室合同設置、若い会員向けのキャリアパスを考えるランチョンミーティング、合同ホームページや育児・男女共同参画等の情報交換をするためのメーリングリストの開設を行うなど、金属・材料分野における女性会員の活動を支援し、女性会員の増強を目指しています。

講演大会アーカイブサイトログイン仕様変更のお知らせ ～2019年秋期講演大会から2024年秋期講演大会までの講演概要閲覧について～

本会の講演概要は、2019年秋期講演大会から大会ポータルサイトからのダウンロード形式となり、過去の講演概要は、アーカイブサイトから当該講演大会の参加登録で割り当てられた認証コードにより、閲覧して頂いておりましたが、本年6月から新しいアーカイブサイトとなり、1年経過後の講演大会概要閲覧は、会員の方はA-Pass認証でログインした会員マイページから過去の講演概要を閲覧可能となります。また、過去に参加登録をされた非会員参加者は、一度事務局へ問い合わせた後、参加登録して頂いた当該講演サイトへのログインに必要な新しい個別認証コードを配布することになりました。アーカイブサイトが新しくなることで、講演大会を横断して講演を検索できるようになるほか、今年度中に各講演概要にDOIが付与できる予定です。

ご不便ご面倒をおかけいたしますが、何卒ご理解のほどよろしくお願い申し上げます。

第50回公益社団法人日本金属学会技術開発賞 「新技術・新製品」記事募集

応募締切：2026年10月30日(金)

[本賞の趣旨]

本会は創意あふれる開発研究を推奨する目的で、金属工業に関する独創性に富む新技術・新製品の技術開発に優れた実績を収めた技術者に対し、本賞を授賞するものである。

(注1)本賞は、当該年の日本金属学会会報「まてりあ」“新技術・新製品”の欄に掲載された記事が、選考対象となる。

技術開発賞募集要綱

1. 賞の名称 第50回公益社団法人日本金属学会技術開発賞 2. 対象となる業績と区分など

- (1) 次の部門およびそれらにまたがるものとする。
 - ①材料基礎技術部門
 - ②素材製造・評価技術部門
 - ③素材応用技術部門
 - ④新素材開発部門
 - ⑤その他
- (2) 評価は次の諸点について行われる。
 - ①独創性のある技術か
 - ②技術、システムあるいは製品に関する有用な発明、考案、改良(有用性)であるか
 - ③技術上の問題解決に役立ち、あるいは新製品の開拓をさらに促す可能性(将来性)があるか
 - ④新技術・新製品の開発に優れた実績があるか
 - ⑤生産実績や適用実績はあるか
- (3) いわゆる「金属」のみでなく、その周辺の材料、たとえば燃料、耐火物、半導体、複合材料などに関するものでもよい。
- (4) 応募の時点で、他の公募制の褒賞(発明協会賞、大河内賞など)を受けていない斬新な主題であることが望ましい。

3. 応募者の条件

- (1) 1件につき10名以内のグループまたは個人
直接開発に関与した技術者であって、単なる職制上の管理者や代表者を含まないことが望ましい。

4. 選考

- (1) 受賞者の選考は選考委員会で行う。選考委員は本会理事会が毎年選任し、会長が委嘱する。
- (2) 理事会が授賞該当無しと認めた場合は、その年度は授賞しない。
- (3) 選考に当たって、特許係争等が問題となった記事は授賞対象から除外する事がある。

5. 授賞

- (1) 2027年6月末日までに受賞者を内定する。
- (2) 2027年秋期講演大会において授賞する。
- (3) 受賞者には賞状と副賞(楯)を贈呈する。受賞者が非会員の場合には、会員資格を与える。

6. 技術開発賞受賞記念講演

技術開発賞受賞をより意義深いものとするため、受賞記念講演をお願いする。

第50回の受賞記念講演は2027年秋期講演大会(9月予定)の折りに行う。

7. 受賞決定までの流れ

応募(10月30日締切)→まてりあ掲載(66巻(2027年)1号から)→選考・受賞決定(2027年6月)→授賞(2027年9月)

まてりあ「新技術・新製品」記事への応募の方法

1. 応募・原稿締切

- (1) 2026年10月30日(金)
- (2) 申し込み受理順を参考に会報「まてりあ」に第1号から第3号まで(予定)掲載する。

2. 応募記事は編集委員会の査読を経て、日本金属学会会報「まてりあ」に掲載する。

掲載記事が技術開発賞の選考対象となる。

掲載が決まった場合には、刷り上がり1ページ当たり30,800円の投稿料を納入すること。

ただし、掲載号1冊、掲載記事のPDFファイルを無料とする。

3. 応募記事の記述の留意事項

- (1) 社名、商品名その他、商業用呼称を用いることは差し支えないが、その内容が一般に理解できるよう説明を付すこと。
- (2) know-howに属する事項を記述する必要はないが、新技術・新製品の特色などが理解できるようなデータを含めること。
- (3) 現在までの実績、経済性、特許関係など「技術開発賞」選考に参考となる項目をなるべく含めること。
- (4) 特許関係等についての記述は十分に注意すること。

4. 原稿作成について

- (1) 原稿は本文、図(写真)および表を含めて刷り上がり3頁以内(約6,700字)とする。
- (2) 原稿は図・表の説明を含めて全て日本語とする。物理量の単位はなるべくSI単位系による。
- (3) 原稿はレイアウトの体裁にあわせて作成する。
- (4) 応募は、下記Webサイトから申込む。

URL <https://data.jimm.jp/jim/shou/gikai/sui/>
ホームページから直接入力→原稿をZip形式ファイルでアップロード→受理mailの発行→受付完了。

原稿ファイルの提出；本文、図表、レイアウトを別個に作成し、Zip形式(ファイルサイズ上限は50MB)でまとめる。

①「レイアウト用紙」(Webサイトにてダウンロード可能)

②図(写真)・表

- ・図と写真は区別せず図1、図2…のように、表は、表1、表2…のようにそれぞれ通し番号とする。
- ・写真にはスケールを入れる。
- ・それぞれキャプションを付すること。
(記述は横軸・縦軸・説明も含めすべて日本語とする。)
- ・カラー原稿にはカラー印刷の有無を必ず明記する。
- ・カラー印刷は刷り1頁あたり38,500円を著者が負担する。

5. 掲載された記事の著作権を本会に委譲すること。

6. まてりあ一般記事の要領に従うこと。(まてりあ掲載「新技術・新製品」記事を参考にすること)

7. 提出資料

- ①レイアウトされた原稿 ②本文テキスト ③図表原稿
④①～③のデータファイル(Zip形式でアップロードする。)

8. 申込・送付先

(公社)日本金属学会各賞係

☎ 022-223-3685 E-mail: award@jimm.jp

9. 「新技術・新製品」記事の問合先

まてりあ係 E-mail: materia@jimm.jp

第77回金属組織写真賞作品募集のご案内について

第77回金属組織写真賞は、今年の12号会告(12月1日から募集開始)予定となります。

公益社団法人日本金属学会 「2027年度若手研究グループ」新規申請募集

申請締切：2026年9月2日(水)

若手および調査・研究事業を活性化することを狙いとして、若手主体の研究グループを2018年度より設置しております。若手研究グループの登録申請を希望される方は下記を参照の上、若手研究グループ申請用紙でお申込下さい。(申請用紙はホームページよりダウンロードして下さい)

【実施要領】

(1)概要

- 新たな研究会の設立、新規研究テーマの開拓やフロンティア助成研究の申請に向けた研究課題の抽出や研究目標の明確化のための調査の実施や構成員による討論会や会議の開催等を行なう。
- 本研究グループの活動を、日本金属学会フロンティア研究助成申請時の審査の参考情報とする。
- 目的・目標・活動計画を明確にし、機関誌等での活動報告を義務化した上で、活動費を支給する。

(2)対象者

- 申請者および構成員は申請時(9月2日時点)に40才以下の研究者であること。申請代表者は正会員であること。
- 申請時には、構成員は5名以上であり、非会員を構成員とすることができるが、過半数は正会員であること。
- 構成員に最低1名は産業界のメンバーが入っていること。(適当なメンバーがいらない場合は、申請時に企業メンバーの推薦を該当分科の調査研究委員会委員等に依頼すること。)
- 活動開始時には、非会員の構成員は会員になること。

(3)活動費

年間50万円を上限とする。(税金分を含む)

(4)活動期間

2027年3月1日～2029年2月28日の2年間

とし、原則として延長は認めない。

(5)活動報告

- 研究成果報告として、講演大会において講演(若手研究グループの企画セッション等が望ましい)を行う。
- 1年経過後および活動終了後に報告書A4版1枚(2,200字程度)を調査研究委員会に提出する(必要な場合は説明いただく)。提出された報告書は、本会ホームページおよび会報「まてりあ」に掲載する。

(6)採択件数

・5件以内とする。

(7)応募方法

- 名称、申請代表者、構成員、申請理由、活動の概要、活動計画、予算、成果の報告予定、関連分野を記載した申請書

を下記申込専用サイトに必要事項を入力の上、アップロードし提出する。なお、ファイルはMS-Word形式として下さい。

申込専用サイト：<https://data.jim.or.jp/jim/wakate/tou/>

(8)審査

- 調査研究委員会が審査の後、理事会で決定する。必要に応じ、面談等を行うことがある。

(9)備考

- その他は研究会の規程に準ずる。
- 活動費の使途は、会議費(会場費、会議中のお茶代・弁当代)、旅費交通費、通信運搬費、消耗品費、印刷製本費等の運営費用および分析や調査等の外注委託費とする。本会規程に基づく旅費・交通費の支給は可とする。ただし、講演大会中および講演大会と連続する日程で開催される構成員の会議等の旅費は不可。
- 会計担当者を置き、年度予算の消化状況の管理を行なう。
- 会計担当は、活動費の残金および参加等収入等の現金ならびに領収書を管理する。
- 会計処理方法の詳細は会計マニュアルに定める。

(10)審査基準

- 研究会への発展や新規研究テーマの開拓に貢献できるか。
- 研究会に類似のテーマはないか。
- 構成員は適切であるか。
- 必要性が高いか。
- 目的や目標が明確にされているか。
- 成果を広く周知する活動報告が計画されているか。

問合・照会先 日本金属学会 若手研究グループ係

E-mail: stevent@jim.jp

☎ 022-223-3685

詳細 まてりあ65巻7号539頁参照

公益社団法人日本金属学会 「研究会」新規・更新申請募集

申請締切：2026年9月2日(水)

研究会の登録を希望される方は研究会実施要領および下記規則をご参照の上、お申込下さい。

新規申請の研究会は新規申請用紙、継続延長申請の研究会は継続更新申請用紙でお申込下さい。(申請用紙はホームページよりダウンロードして下さい)

【実施要領】

研究会の目的 研究会は先端領域又は学術領域における研究会を効率的に推進するために活動することを目的とする。

(1)年間運営費

150,000円

(2)活動期間

新規申請の場合1期5年間以内、継続更新の場合は、延長期間1期3年以内。

最長活動期間は2期8年以内

(3)新規申請書の内容

①研究会名称、②活動目的、③活動期間、④代表世話人、⑤世話人(複数可)、⑥構成員名簿

(4) 継続更新申請書の内容

- ①研究会名称, ②継続理由, ③延長期間, ④代表世話人,
⑤世話人, ⑥構成員, ⑦これまでの成果報告, ⑧今後の活動計画書

(5) 年間採択数 新規2件以内, 継続(延長)申請は2件以内

(6) 研究会の審査 調査研究推進委員会で1次審査をし,
理事会で最終審査を行う。

(7) 審査基準

- ・十分な学術貢献が期待できるか。
- ・既存の研究会と類似していないか。
- ・構成員は適切か。
- ・そのテーマの研究会が必要か。
- ・研究会活動期間中に講演大会公募シンポジウムや金属学会シンポジウムを計画しているか。

(8) 現在活動中の研究会の留意事項

- ・2027年2月に終了する研究会で, 過去に継続(延長)の申請をしている研究会は, 現在の活動期間で終了となります。
- ・2027年2月に終了する研究会で, これまで継続(延長)の申請をしていない研究会は, 1期3年の継続(延長)の申請が出来ます。ただし, 研究会の審査により2件以内の採択となります。

(9) 申込方法 作成した申請書を下記申込専用サイトに必要事項を入力の上, アップロードし提出して下さい。なお, ファイルはMS-Word形式として下さい。

申込専用サイト:

<https://data.jim.or.jp/jim/kenkyukai/tou/>

問合・照会先 (公社)日本金属学会 研究会係

E-mail: stevent@jimm.jp

☎ 022-223-3685

詳細 まてりあ65巻7号540頁参照

掲 示 板

〈公募類記事・集会・セミナー・講習会・募集・お知らせ・助成〉

分量: 1/4頁(700~800文字)程度。

1. 「まてりあ」とホームページに掲載: 16,500円

2. ホームページのみ掲載: 11,000円

3. DM(ダイレクトメール)発信のみ: 11,000円

4. 1.2にDM発信を追加する場合: 5,500円

(公募求人の追加は不可)

〈新刊案内〉会員による出版案内(書誌情報の掲載: 無料)

原稿締切・掲載号: 毎月1日締切で翌月号1回掲載。

原稿提出先: E-mail: materia@jimm.jp

提出方法: 電子メール(受け取りメールの確認をして下さい)

集 会

◇レアメタル研究会◇

■主 催 レアメタル研究会

■主 宰 者 東京大学生産技術研究所 教授 岡部 徹

■協 力 (一財)生産技術研究奨励会(特別研究会 RC-40)

■共 催 東京大学マテリアル工学セミナー

レアメタルの環境調和型リサイクル技術の開発研究会

東京大学生産技術研究所 持続型材料エネルギーイン

テグレーション研究センター

東京大学生産技術研究所 非鉄金属資源循環工学寄付

研究部門(JX 金属寄付ユニット)

■協 賛 (公社)日本金属学会 他

■開催会場 東京大学生産技術研究所

An 棟 2F コンベンションホール 他

〒153-8505 目黒区駒場 4-6-1

(最寄り駅: 駒場東大前, 東北沢, 代々木上原)

■参加登録・問い合わせ 岡部研究室 宮寄智子

参加登録 E-mail: okabelab@iis.u-tokyo.ac.jp

問い合わせ E-mail: tmiya@iis.u-tokyo.ac.jp

令和8年度 レアメタル研究会のご案内

(2026.6.25現在)

■第122回 2026年9月11日(金)14:00~

東京大学・本郷・山上会館

リアル講演会+講演のネット配信(Zoom Webinar & YouTube)のハイブリッド研究会

テーマ: 若手研究者が金属プロセス工学の未来を熱く語る

午後2:00~ 講演【敬称略】

★プログラムの順番等に変更する可能性があります★

・素材プロセス研究に込める夢と挑戦(仮)(50分)

東北大学 多元物質科学研究所 助教 上村 源

・鉄鋼・アルミニウムを通して学んだ材料プロセス研究

—これまでとこれから—(仮)(50分)

富山大学 都市デザイン学部材料デザイン工学科 講師

加藤謙吾

・Foundry(ファンドリー)研究の過去, 現在, 未来(60分)

東京大学 生産技術研究所 講師

鳴海大翔

午後6:00~研究交流会・意見交換会

■東京大学 生産技術研究所 非鉄金属資源循環工学寄付研究
部門(JX 金属寄付ユニット)主催
半導体の未来に関するシンポジウム
2026年9月25日(金)14:00～

An 棟 2F コンベンションホール

リアル講演会+講演のネット配信(Zoom Webinar & YouTube)のハイブリ
ッド研究会

テーマ:半導体の未来

午後2:00～

- ・先端半導体技術の動向:過去,現在と将来展望(60分)
東京大学大学院工学研究科附属システムデザイン研究セ
ンター(d.lab)上席研究員 平本俊郎
- ・半導体用,超高純度レアメタルについて(仮)(30分)
東京大学 生産技術研究所 教授 岡部 徹
- ・半導体用ターゲット材の開発について(仮)(60分)
JX 金属株式会社 執行役員,先端材料事業本部薄膜材料
事業部長(兼)先端材料事業本部データインフラ材料事業
推進部長,技術本部審議役 岡部岳夫
- ・半導体素子微細化と, AI 時代にも延命し続ける銅配線
技術(60分)
筑波大学 物理学科 客員教授,株式会社トクヤマ 技術
研究本部 フェロー 野上 毅

午後6:00～研究交流会・意見交換会

@An 棟 1F レストラン・アーベ(要参加登録)

■第123回 2026年11月6日(金)14:00～

An 棟 2F コンベンションホール

★チタンシンポジウム(第10回)★(合同開催)

リアル講演会+講演のネット配信(Zoom Webinar & YouTube)のハイブリ
ッド研究会

テーマ:チタンの現状と未来

午後2:00～ 講演【敬称略】

★プログラムの順番等は変更する可能性があります★

- ・東邦チタニウムと JX 金属(旧・日本鋳業)(40分)
東邦チタニウム株式会社 副社長執行役員 百野 修
- ・航空機用チタン合金の鍛造技術の現状と将来展望(仮)
(40分)
株式会社神戸製鋼所 チタンユニット チタン工場 技
術部 部長 百田悠介
- ・チタンの軽元素メタラジー(40分)
東北大学大学院 工学研究科 材料システム工学専攻
教授 成島尚之
- ・チタン研究の最近の進歩(仮)(40分)
東京大学 生産技術研究所 教授 岡部 徹
- ・クロール法における生産性向上と品質の追求(仮)(40分)
株式会社大阪チタニウムテクノロジー 技術部長 兼
DX 推進部長 山本慎也

午後6:00～研究交流会・意見交換会

@An 棟 2F ホワイエ+チタンシンポ,第10回開催記念祝
賀会

■第124回 2027年1月8日(金)14:00～

An 棟 2F コンベンションホール

【オンライン配信(Zoom Webinar, YouTube など)は行わない予定です】

★貴金属シンポジウム(第14回)+新年会★(合同開催)

テーマ:貴金属の精錬・リサイクル

午後2:00～ 企画中

午後6:00～研究交流会・意見交換会

@An 棟 2F ホワイエ+貴金属シンポ, 新年会

■第125回 2027年3月12日(金)14:00～

東京大学・本郷・伊藤国際学術研究センター

伊藤謝恩ホール

リアル講演会+講演のネット配信(Zoom Webinar & YouTube)のハイブリ
ッド研究会

テーマ:朱鴻民教授が熱く語る特別シンポジウム+慰労会

★(合同開催)

午後2:00～ 講演【敬称略】

★プログラムの順番等は変更する可能性があります★

- ・Electrochemical refining for high-purity titanium(仮)
(30分)
北京科技大学(University of Science and Technology
Beijing)教授 Prof. Jiao Shuqiang 焦树强
- ・巨人の肩に乗る(仮)(30分)
北京科技大学(University of Science and Technology
Beijing)教授 Prof. Lu Xin 卢 鑫
- ・朱鴻民先生のもとで学び(仮)(30分)
東北大学大学院工学研究科 教授 竹田 修
- ・朱先生との思い出(仮)(20分)
東京大学 生産技術研究所 教授 岡部 徹
- ・熔融塩とレアメタル(仮)(60分)
東北大学大学院 工学研究科 教授 朱 鴻民

午後6:00～研究交流会・意見交換会

@伊藤国際学術研究センター ホワイエ+朱教授ご退職お
祝いの会

レアメタル研究会ホームページ

https://www.okabe.iis.u-tokyo.ac.jp/japanese/rc40_j.html

◇ 掲示板はホームページにも掲載しております. ◇

https://jimm.jp/information/bulletin_boad/

◇東北大学大学院工学研究科教員公募◇

公募人員 准教授 1名

所 属 知能デバイス材料学専攻 ナノ材料物性学講座
材料界面物性学分野

専門分野 表面界面化学を基盤として、高耐食材料・電極材料・機能材料などの創製とそれらの劣化機構解明および信頼性向上に関する教育・研究を行う

応募資格 博士の学位を有し、当該分野の研究・教育に意欲があり、日本語と英語で講義のできる方

担当授業科目 「学部」：電気化学，材料科学総合学実験，材料科学総合学基盤研修，材料科学総合学卒業研修等 「大学院」：(前期)材料電気化学，応用腐食防食学，知能デバイス材料学修士研修等，(後期)知能デバイス材料学博士研修等

任 期 なし

公募締切 2026年9月30日(水)17:00

着任時期 2027年4月1日以降，できるだけ早い時期

提出書類 (1)履歴書，(2)学位論文題目，(3)研究業績概要(A4版2頁以内)，(4)主要論文5編の別刷り(コピー可)，(5)研究業績リスト：学術論文，参考論文，著書，特許(出願件数：申請中を含む，登録件数，主要特許10件前後のリスト(特許出願・公開・公告No，発明者氏名，発明題目))等，(6)獲得外部研究資金(科研費等)一覧(大学や公的研究機関所属の場合)，(7)受賞，(8)招待講演等，(9)教育業績(担当科目等)，(10)所属学会，(11)学会活動歴(委員会等)，(12)研究活動，(13)社会活動等に関する一覧表，(14)今後の研究計画(A4版2頁以内)，(15)教育活動に関する抱負(A4版2頁以内)，(16)照会可能な方2名の氏名と連絡先(住所，電話，E-mail)，(17)応募者の連絡先(住所，電話，E-mail)，(18)応募者の研究業績等に関するデータベースのURL(Scopus, KAKEN 等)

書類送付先 東北大学大学院工学研究科 マテリアル・開発系長 及川 勝成

E-mail: depthhead.material@grp.tohoku.ac.jp

問合せ先 東北大学大学院工学研究科 知能デバイス材料学専攻長 吉見 享祐

☎・FAX 022-795-7324

E-mail: kyosuke.yoshimi.d1@tohoku.ac.jp

※件名を「教員公募書類(知能デバイス材料学専攻 ナノ材料物性学講座 材料界面物性学分野 准教授)」として電子メールで送付して下さい。

※詳細： https://www.material.tohoku.ac.jp/media/files/_u/topic/file/y38hqbanp.pdf◇秋田県立大学システム科学技術学部
機械工学科教員公募◇

公募人員 助教 2名

所 属 システム科学技術学部機械工学科(本荘キャンパス)

専門分野 ①ナノテク・材料：金属・複合・機能等の各種材料物性や加工・組織制御，薄膜，結晶，光工学等
②ものづくり技術：材料力学，設計・生産工学，流体，計測，電気電子材料，計算シミュレーション等

担当授業科目 主に物理学／機械工学実験，機械工学実習／演習，企業課題解決 PBL 演習，卒業論文指導等の補助を担当

応募資格 (1)博士の学位を有すること，または原則として採用日までに取得見込みであること，(2)当該分野の教育と研究に熱意を持っていること，地域貢献にも意欲を持っていること，(3)国籍は問わないが，日本語が堪能であること

着任時期 2027年4月1日

任 期 なし

公募締切 2026年10月22日(木)必着

提出書類 (1)履歴書，(2)研究業績書，(3)主要論文3編(URLの記載またはコピー可)，(4)これまでの研究，教育及び社会活動(地域貢献を含む)の概要(1,000字程度)，(5)教育に対する抱負(1,000字程度)，(6)研究・地域貢献に対する抱負(1,000字程度)，(7)応募者について意見を求めることができる推薦者2名の氏名と連絡先，(8)科研費等外部資金獲得の実績がある場合は，過去5年間における獲得状況の一覧

※履歴書及び研究業績書については，<https://www.akita-pu.ac.jp/about/saiyo/>をご参照下さい。

書類送付先 秋田県立大学システム科学技術学部 教員選考委員長 西田 哲也

〒015-0055 秋田県由利本荘市土谷字海老ノ口84-4

問合せ先 秋田県立大学システム科学技術学部
機械工学科長 尾藤 輝夫

☎ 0184-27-2161

E-mail: teruo_bitoh@akita-pu.ac.jp※詳細：<https://www.akita-pu.ac.jp/about/saiyo/9368><https://jrecin.jst.go.jp/seek/SeekJorDetail?id=D126061570>

◇ ◇ ◇

2027年度 金属学会シンポジウム*のテーマ募集

提案期限：2026年10月6日(火) 厳守

会員の研究活動の一層の活性化を図ることを目的として、春秋大会とは別に個別にシンポジウムを実施しております。この度、広く会員からシンポジウムのテーマを募集することにいたしました。つきましては、2027年度開催のシンポジウムテーマ(講演大会とは別)を募集いたします。セミナーシンポジウム委員会で協議のうえ、採否を決定いたします。
(*講演大会時のシンポジウムとは異なります。)

シンポジウムの開催趣旨

金属学会シンポジウムは、話題性のあるトピックス等の特定のテーマに関心をもつ研究者が集まって、講演発表、相互討論を行い、問題への共通認識を深め、今後の研究の発展に資することを目的として実施する。

今回募集するシンポジウムの開催時期 2027年度(2027年3月1日～2028年2月29日)内に実施

応募要領 提出書類：提案書を下記提出先に送付して下さい。(提案書の様式はホームページよりダウンロードして下さい。)
提案締切：2026年10月6日(火)

応募から実施までの流れ

募集締め切り(10月)⇒セミナーシンポジウム委員会にて採択決定(10月頃)⇒事務局から採択通知と具体的実施準備の連絡⇒講師・プログラム・会場の決定(開催6か月前に確定必要)・会告⇒講師依頼⇒テキスト作成(開催2か月前に原稿必要)⇒参加者募集⇒開催

〈世話人〉

1. 講演者への内諾(内諾後、事務局から正式依頼いたします。)
2. プログラム日程案作成・会場手配(事務局と相談)
3. 開催当日の司会・進行

〈講師〉事前の予稿集原稿(4頁程度)執筆と予稿

〈事務局〉

1. 費用支払い(会場費、旅費謝礼、昼食費等)
2. 予稿集編集・印刷
3. 講師依頼状配信
4. 関係学協会への協賛依頼

提案書提出先・問合先

下記宛てに E-mail で送付して下さい。2, 3 日過ぎても受理の通知が届かない場合はご連絡下さい。

(公社)日本金属学会 セミナーシンポジウム委員会宛 E-mail: stevent@jimm.jp ☎ 022-223-3685 FAX 022-223-6312

2027年春秋講演大会企画シンポジウムテーマ募集

提案期限：2026年9月1日(火) 期日厳守

最新の研究や技術を発信し、多くの研究者・技術者が集い交流する魅力ある講演大会を目指して、2017年秋期講演大会より企画シンポジウムを実施しています。従来の公募シンポジウムとは違い、企業の方に積極的に講演頂くため、講演概要原稿の提出は問いません。講演発表は、一般(応募)講演枠は設けず、依頼講演および基調講演に限定いたします。

次の要領をご参照のうえ、活発な討論が期待できる有益なテーマおよび他学会との連携企画等積極にご提案下さい。
(提案様式はホームページよりダウンロードして下さい)

詳細 までりあ65巻7月号544頁またはホームページ→講演大会→2027春

問合・照会先 (公社)日本金属学会講演大会委員会宛

E-mail: stevent@jimm.jp

☎ 022-223-3685 FAX 022-223-6312

2027年春秋講演大会公募シンポジウムテーマ提案募集

提案期限：2026年9月1日(火) 期日厳守

会員の研究活動一層の活性化を図ることを目的として、春秋大会において会員からの提案テーマによるシンポジウム講演を実施いたしており、活況を呈しております。来年の春秋講演大会の公募シンポジウムテーマを募集いたします。募集要領をご参照のうえ、活発な討論が期待できる有益なテーマを積極にご提案下さい。(提案様式はホームページよりダウンロードして下さい。)

【優秀口頭発表賞の実施について】

2026年秋期講演大会より、講演大会の活性化および材料分野の若手研究者の発表を奨励するため、公募シンポジウムにおいて口頭発表賞を実施しております。口頭発表賞の実施については、各テーマ企画責任者の意向によるものとしております。

詳細 までりあ65巻7月号543頁またはホームページ→講演大会→2027春

問合・照会先 (公社)日本金属学会講演大会委員会宛

E-mail: stevent@jimm.jp

☎ 022-223-3685 FAX 022-223-6312

金属学会講習会※：現地開催

※金属学会講習会が新しく始まります！！

◎金属学会講習会は、金属学に関連する各種の実践的ノウハウを学び、教育・研究に関するスキルアップを目的とする活動の一環です。2026年度より始動いたします。ぜひご活用下さい。

～電気化学インピーダンス測定・解析の基礎と応用： 電池から腐食まで～

電気化学インピーダンス法は、対象とする電極に微小な交流正弦波信号を印加して、応答する信号の振幅と位相差からインピーダンスを求める測定し、電極界面の情報を非破壊で取得・解析する手法です。本講習会は測定手法の原理を中心とした基礎に関する座学と電池および腐食に関する計測デモを交えて、受講者が本手法の概要について理解することを目的としています。多くの方のご参加をお待ちしております。

(企画世話人 大阪大学 土谷博昭, 物質・材料研究機構 堤 祐介, 東京科学大学 大井 梓)

日 時 2026年10月8日(木)10:00～17:00

場 所 大阪大学吹田キャンパス 材料開発・物性記念館2階研修室(〒565-0871 吹田市山田丘2-1)

募集定員 30名

受講料・受講資格(テキスト代含む・税込み)

受講資格	事前申込
正 員	10,000円
学 生	5,000円
非会員	15,000円

※維持員社員、協賛学協会会員は正員扱い。
※学生は会員、非会員の区別なし。

申込サイト <https://event.atlas.jp/ja/jimm/S0037>

(事前申込のみになります。当日参加の受付はございません。)

申込締切 2026年9月29日(火)登録分まで

テキスト 当日、資料を配布予定です。

受講料支払方法 ①カード決済 ②銀行振込のどちらかをご利用下さい。

問合先 (公社)日本金属学会 シンポジウム参加係

E-mail: meeting@jimm.jp ☎ 022-223-3685 FAX 022-223-6312

カリキュラム

10月8日(木)10:00～17:00

10:00～12:00 座学：電気化学インピーダンス法の基礎

講師：星 芳直(名工大)

—昼食・休憩—

13:30～14:30 座学・デモ：電気化学インピーダンス測定におけるノイズ対策

講師：樋口 望(東陽テクニカ)

14:30～15:30 計測デモ①：腐食

講師：大井 梓(東京科学大)

—休憩—

15:45～16:45 計測デモ②：電池

講師：横島 時彦(名大)

16:45～17:00 質疑応答

[協賛予定] 化学工学会、軽金属学会、ステンレス協会、電気化学会、土木学会、日本機械学会、日本原子力学会、日本鋼構造協会、日本材料学会、日本チタン学会、日本鉄鋼協会、日本バイオマテリアル学会、日本非破壊検査協会、日本プラントメンテナンス協会、日本防錆技術協会、日本保全学会、表面技術協会、腐食防食学会、溶接学会

日本金属学会オンライン教育講座 開催案内

『材料組織弾性学の基礎と応用』

申込期間：2026年7月1日(水)～9月14日(月)

日 時 1日目 2026年9月28日(月)13:30-16:50 2日目 9月29日(火)13:30-16:50

講義概要

不均一な応力場・ひずみ場および弾性エネルギー場を記述可能なマイクロメカニックスの理論体系は、固相における相変態・組織形成および各種欠陥等の理解に極めて有益です。さらにフェーズフィールド微視的弾性論は、マイクロメカニックスの数理を、任意形態の材料組織へ適用するために整備された計算理論体系です。

さらにこれら一連の解析手法は、複合材料のマクロ的な諸特性解析(熱拡散、物質拡散、電気伝導、透磁率など)へ広く横展開可能です。本講座では、基礎理論および複合材料のマクロ特性解析手法について解説するとともに、最近のAIエージェントを援用した近未来の材料工学についても触れる予定です。

本講座では、当日に受講できない方や理解を深めたい受講者の方のために、講義の見逃し配信を行います(講座開催3週間後から1ヶ月間を目安に配信予定)。受講申込み者は追加料金なしで視聴できます。

カリキュラム

2026年9月28日(月) 13:30～16:50

13:30-15:00 マイクロメカニックスの基礎

15:00-15:20 一休憩

15:20-16:50 フェーズフィールド微視的弾性論

2026年9月29日(火) 13:30～16:50

13:30-15:00 セカント法の基礎と応用(様々な特性計算への横展開)

15:00-15:20 一休憩

15:20-16:50 AIエージェントを援用した近未来の材料工学

講師紹介(略歴)

物質・材料研究機構 構造材料研究センター・特命研究員 小山 敏幸

1986年3月名古屋工業大学工学部金属工学科卒業、1988年3月名古屋工業大学大学院工学研究科博士前期課程修了、1990年4月同博士後期課程単位取得退学後、名古屋工業大学工学部助手、1996年9月博士(工学)《名古屋工業大学》取得、2002年4月物質・材料研究機構計算材料科学研究センター主任研究員、2005年4月同主幹研究員、2009年4月同新構造材料センターグループリーダー、2010年4月名古屋工業大学大学院工学研究科准教授、2011年4月同教授、2015年4月名古屋大学大学院工学研究科教授、2025年4月物質・材料研究機構構造材料研究センター特命研究員、現在に至る。

コーディネーター 大阪大学大学院工学研究科教授 多根 正和

受講方法 オンライン

受講方法および資料のダウンロードの方法は受講申込みにメールでご案内します。

申込方法 下記のサイトよりお申込み下さい。

①今年度初めての受講(2026年3月1日以降)

<https://event.atlas.jp/ja/jimm/S0027>

②今年度2講座目以降の受講(前回受講の講座名と参加登録番号の入力が必要)

<https://event.atlas.jp/ja/jimm/S0028>

受講料

対象者	1 講座基本料金	2 講座目以降割引料金※
正 員	20,000円	15,000円
学 生	8,000円	6,000円
非会員	40,000円	30,000円

○本会維持員会社社員、協賛学協会会員は正員扱い。
○学生は会員、非会員の区別なし。

※本年度開催のオンライン教育講座またはオンデマンド配信を2講座以上受講する場合、2講座目からは割引料金(25%割引)となります。

本会の維持員社員が同一講座に3名以上でお申込みの場合、受講料が正員価格より25%割引となります(お申込み前にご相談下さい)。ただし、複数受講との重複割引はありません。

申込期間 2026年7月1日(水)~9月14日(月)

※今回、通常より短い期間での受付となっておりますので、ご注意ください。

受講料支払方法 ①カード決済 ②銀行振込のどちらかをご利用下さい。

問合せ先 (公社)日本金属学会 セミナー・シンポジウム係

E-mail: meeting@jimm.jp ☎ 022-223-3685 FAX 022-223-6312

協賛予定

エネルギー資源学会、応用物理学会、金属系材料研究開発センター、軽金属学会、軽金属製品協会、合金状態図研究会、資源・素材学会、ステンレス協会、素材センター、電気化学会、電気学会、日本アルミニウム協会、日本MRS、日本化学会、日本ガスタービン学会、日本機械学会、日本材料科学会、日本材料学会、日本磁気学会、日本セラミックス協会、日本塑性加工学会、日本チタン協会、日本鋳造工学会、日本鉄鋼協会、日本物理学会、日本分析化学会、粉体粉末冶金協会、腐食防食学会、表面技術協会、日本チタン学会、日本バイオマテリアル学会



オンデマンド配信（日本金属学会オンライン教育講座）開催案内

『凝固の科学』

配信：2026年10月1日(木)~10月30日(金)

講義概要 凝固の科学・技術は、 casting 材や展伸材の製造、それらの溶接・接合だけでなく、Additive Manufacturingにおいても重要な役割を担っています。まず、曲率効果、核生成、組成的過冷と界面不安定性、デンドライト成長など基礎を取り上げます。続いて、柱状晶や等軸晶などの組織選択、マクロ偏析などの casting 欠陥について解説します。さらに、急冷凝固現象を概説します。最後に、事例としてレーザープロセスにおける凝固現象を紹介し、凝固の科学とその応用について議論します。

本講座は2025年11月に開催された当該講座の録画をオンデマンドで視聴いただきます。

配信期間中は好きな時間に何度でもご聴講いただけます。

カリキュラム

- 1 時限目 凝固の基礎(講師：安田 秀幸)
- 2 時限目 組織選択 (講師：安田 秀幸)
- 3 時限目 鋳造欠陥 (講師：安田 秀幸)
- 4 時限目 急冷凝固 (講師：安田 秀幸)
- 5 時限目 レーザープロセスにおける凝固現象(講師：森下浩平)

※トータル約6時間半の講義になります。

講師紹介

京都大学・教授 安田 秀幸

1986年京都大学工学部金属加工学科卒業、1991年京都大学工学研究科後期博士課程修了、1991年大阪大学工学部助手、1997年大阪大学工学研究科助教授、2004年大阪大学工学研究科教授、2013年京都大学工学研究科教授。

九州大学・教授 森下 浩平

2002年京都大学工学部物理工学科卒業、2007年京都大学工学研究科後期博士課程修了、2007年東北大学金属材料研究所助教、2010年京都大学エネルギー科学研究科特定助教、2014年京都大学工学研究科助教授、2018年九州大学工学研究院准教授、2025年九州大学工学研究院教授。

コーディネーター 物質・材料研究機構・主幹研究員 井 誠一郎

視聴期間 2026年10月1日(木)~10月30日(金)

視聴方法 オンデマンド配信システム UIshare から視聴いただきます。
資料は同システムのウェブサイトからダウンロードいただけます。
視聴方法および資料のダウンロードの方法は受講申し込み者にメールでご案内します。

申込方法 下記のサイトよりお申し込み下さい。
①今年度(2026年 3 月 1 日)以降初めて受講する場合
https://event.atlas.jp/ja/jimm/S0038
②今年度 2 講座目以降の受講の場合(前回は受講の講座名と参加登録番号の入力が必要)
https://event.atlas.jp/ja/jimm/S0039

受 講 料	対象者	1 講座基本料金	2 講座目以降割引料金※
	正 員	20,000円	15,000円
	学 生	8,000円	6,000円
	非会員	40,000円	30,000円

○本会維持員会社社員、協賛学協会会員は正員扱い。
○学生は会員、非会員の区別なし。

※本年度開催のオンライン教育講座またはオンデマンド配信を 2 講座以上受講する場合、2 講座目からは割引料金(25%割引)となります。
本会の維持員社員が同一講座に 3 名以上でお申込みの場合、受講料が正員価格より 25%割引となります(お申込前にご相談下さい)。ただし、複数受講との重複割引はありません。

申込期間 2026年 8 月 1 日(水)～10月 8 日(木)
受講料支払方法 ①カード決済 ②銀行振込のどちらかをご利用下さい。
問合せ先 公益社団法人日本金属学会 セミナー・シンポジウム係
〒980-8544 仙台市青葉区一番町 1-14-32
E-mail: meeting@jimm.jp ☎ 022-223-3685 FAX 022-223-6312

協賛予定
エネルギー資源学会、応用物理学会、金属系材料研究開発センター、軽金属学会、軽金属製品協会、合金状態図研究会、資源・素材学会、ステンレス協会、素形材センター、電気化学会、電気学会、日本アルミニウム協会、日本 MRS、日本化学会、日本ガスタービン学会、日本機械学会、日本材料科学会、日本材料学会、日本磁気学会、日本セラミックス協会、日本塑性加工学会、日本チタン協会、日本鋳造工学会、日本鉄鋼協会、日本物理学会、日本分析化学会、粉体粉末冶金協会、腐食防食学会、表面技術協会、日本チタン学会、日本バイオマテリアル学会



『金属材料の耐環境性(2)高温酸化・高温腐食の基礎—熱力学・速度論・高温強度—』

配信：2026年 8 月 3 日(月)～9 月 2 日(水)

講義概要 耐熱金属材料の使用環境は近年、益々高温化し、金属材料にとって非常に厳しい環境となるため、材料の高温特性向上が強く求められています。また高温酸化・腐食の原理原則に基づき高温酸化・腐食現象を正しく把握して、適切な材料選定や防食対策に活かすことが要求されます。本講座では、熱力学、速度論及び高温強度を中心に、高温酸化・腐食の基礎を学習することで、業務で高温酸化・腐食に携わる研究者・技術者として必要な素養を醸成することを目標とします。本講座は2023年 6 月に開催した当該講座の録画をオンデマンドで視聴いただきます。配信期間中は好きな時間に聴講できます。

カリキュラム 1 時限目 高温酸化・腐食の熱力学(講師：上田 光敏)
2 時限目 高温酸化の速度論(講師：上田 光敏)
3 時限目 高温腐食・熔融塩腐食(講師：野口 学)
4 時限目 酸化物の高温強度と高温酸化皮膜の機械特性(講師：南口 誠)

※トータルで約 6 時間の講義です。(1 コマ90分)

講師紹介
東京科学大学物質理工学院准教授 上田 光敏
1999年 3 月東京工業大学工学部金属工学科卒業。2004年 3 月東京工業大学博士(工学)。東京工業大学大学院理工学研究科材料工学専攻・助手・助教・准教授を経て、2016年 4 月より現職(改組)。

萩原製作所 野口 学

1991年3月北海道大学工学部金属工学科卒業。1996年3月北海道大学博士(工学)。1996年4月株式会社萩原製作所入社。
2019年4月より現職。

長岡技術科学大学教授 南口 誠

1990年3月長岡技術科学大学工学部創造設計工学科卒業。1995年3月長岡技術科学大学工学博士。東京工業大学助手・長岡技術科学大学助教授を経て、2018年4月より現職。

視聴期間 **2026年8月3日(月)～9月2日(水)**

視聴方法 オンデマンド配信システム UIshare から視聴いただきます。

資料は同システムのウェブサイトからダウンロードいただけます。

視聴方法および資料のダウンロードの方法は受講申し込み者にメールで案内します。

申込方法 ①今年度※初めての受講(※2026年3月1日以降)

<https://event.atlas.jp/ja/jimm/S0029>

②今年度2講座目以降の受講(前回受講の講座名と参加登録番号の入力が必要)

<https://event.atlas.jp/ja/jimm/S0030>

受講料

対象者	1 講座基本料金	2 講座目以降割引料金※
正 員	20,000円	15,000円
学 生	8,000円	6,000円
非会員	40,000円	30,000円

※本会維持員会社社員、協賛学協会会員は正員扱い。
※学生は会員、非会員の区別なし。

※本年度開催のオンライン教育講座またはオンデマンド配信を2講座以上受講する場合、2講座目からは割引料金(25%割引)となります。

本会の維持員社員が同一講座に3名以上でお申込みの場合、受講料が正員価格より25%割引となります(お申込み前にご相談下さい)。ただし、複数受講との重複割引はありません。

申込締切 **2026年8月7日(金)**

通常より申込締切日が早くなっております。お気をつけ下さい。



『金属組織学の基礎』

配信：2026年8月3日(月)～9月2日(水)

講義概要 金属材料の力学特性は、そのミクロ組織(Microstructure)と密接に関係しています。そして、ミクロ組織は加工熱処理プロセス中に起こる相変態現象を通して形成されます。本講座では再結晶・拡散変態・マルテンサイト変態の三現象を取り上げ、ミクロ組織の形成機構を基礎から理解することに重点を置きます。その上で、望みの力学特性を得るためのミクロ組織に注目して、そのミクロ組織を達成するための化学組成とプロセス条件について鉄鋼材料における具体例をあげながら説明します。

本講座は2025年5月に開催した当該講座の録画をオンデマンドで視聴いただきます。配信期間中は好きな時間に聴講できます。

カリキュラム

- 1 時限目 再結晶 1 変形と回復
- 2 時限目 再結晶 2 再結晶と粒成長
- 3 時限目 拡散変態 1 変態の種類と核生成
- 4 時限目 拡散変態 2 析出物の成長と形態
- 5 時限目 マルテンサイト変態 1 変態の特徴と速度論
- 6 時限目 マルテンサイト変態 2 形状記憶効果と TRIP 効果、鋼のマルテンサイト変態と高強度鋼

※トータルで約6時間の講義です。

講師紹介

物質・材料研究機構名誉フェロー 九州大学名誉教授 津崎 兼彰

1977年京都大学工学部金属加工工学科卒業、1982年同大学院工学研究科博士課程修了、1983年米国マサチューセッツ工科

大学博士研究員，1985年京都大学工学部助手，1991年同助教授，1996年同大学院工学研究科助教授(配置換)，1997年金属材料技術研究所ユニット・リーダー，2002年物質・材料研究機構超鉄鋼研究センター・副センター長，2006年同新構造材料センター・センター長，2011年同元素戦略センター・センター長，2013年九州大学大学院工学研究院教授，2016年同主幹教授，2020年同名誉教授，2020年物質・材料研究機構招聘研究員，2021年同フェロー，2025年同名誉研究員，現在に至る。

視聴期間 2026年 8 月 3 日(月)～9 月 2 日(水)

視聴方法 オンデマンド配信システム UIshare から視聴いただきます。

資料は同システムのウェブサイトからダウンロードいただけます。

視聴方法および資料のダウンロードの方法は受講申し込み者にメールで案内します。

申込方法 ①今年度※初めての受講(※2026年 3 月 1 日以降)

<https://event.atlas.jp/ja/jimm/S0031>

②今年度 2 講座目以降の受講(前回受講の講座名と参加登録番号の入力が必要です)

<https://event.atlas.jp/ja/jimm/S0032>

受講料

対象者	1 講座基本料金	2 講座目以降割引料金※
正 員	20,000円	15,000円
学 生	8,000円	6,000円
非会員	40,000円	30,000円

※本会維持員会社社員，協賛学協会会員は正員扱い。
※学生は会員，非会員の区別なし。

※本年度開催のオンライン教育講座またはオンデマンド配信を 2 講座以上受講する場合，2 講座目からは割引料金(25%割引)となります。

本会の維持員社員が同一講座に 3 名以上でお申込みの場合，受講料が正員価格より 25%割引となります(お申込み前にご相談下さい)。ただし，複数受講との重複割引はありません。

申込締切 2026年 8 月 7 日(金)

通常より申込締切日が早くなっております。お気をつけ下さい。



『めっき：成膜法としての基礎と材料化学的アプローチ』

配信：2026年 9 月 1 日(火)～9 月 30 日(水)

講義概要 代表的な金属膜作製法であるめっきは防錆，装飾から半導体微細配線やナノ・マイクロ材料製造までその用途を広げながら発展を続けています。本講座では，めっきの基礎に続いて膜質の制御に欠かせない添加剤の役割について解説し，近年の新たな展開としてナノ結晶合金作製と濃厚電解質溶液の利用，めっき膜中水素の挙動について紹介します。

本講座は，2025年10月に開催した当該講座の録画をオンデマンドで視聴いただきます。配信期間中は好きな時間に聴講できます。

カリキュラム

- 1 時限目 めっきの基礎(講師：平藤 哲司)
- 2 時限目 めっきにおける各種添加剤の役割(講師：赤星 晴夫)
- 3 時限目 めっき法によるナノ結晶合金の作製(講師：瀧川 順庸)
- 4 時限目 濃厚電解質溶液を利用しためっき(講師：邑瀬 邦明)
- 5 時限目 めっき膜中の水素の挙動解析(講師：福室 直樹)

*トータル約 6 時間の講義になります。

講師紹介

京都大学名誉教授 平藤 哲司

1981年 3 月 京都大学工学部金属系学科 卒業；1983年 3 月 京都大学大学院工学研究科金属加工学専攻 修士課程修了；

1987年 5 月 京都大学大学院工学研究科冶金学専攻 博士後期課程修了；1987年 6 月～ トロント大学 博士研究員；1988

年 6 月～ 京都大学工学部助手；1994 年 8 月～ 京都大学工学部助教授；1996 年 4 月～ 京都大学大学院工学研究科助教
授；2006 年 4 月～ 東北大学多元物質科学研究所教授；2007 年 8 月～ 京都大学大学院エネルギー科学研究科教授；2024
年 4 月～ 京都大学名誉教授，現在に至る。

関東学院大学客員教授 赤星 晴夫

1981 年 3 月 東北大学大学院応用化学専攻 博士後期課程修了；1981 年 4 月～2015 年 10 月 株式会社日立製作所日立研究
所；2011 年 11 月～2012 年 9 月 東北大学学際化学国際高等研究センター客員教授；2018 年 4 月～2021 年 3 月 長岡技術科
学大学工学研究科特任教授；2019 年 4 月～2023 年 3 月 関東学院大学工学研究科客員教授；2021 年 4 月～2022 年 3 月 長
岡技術科学大学技術開発センター客員教授；2022 年 6 月～2023 年 3 月 長岡技術科学大学 物質材料工学専攻科特任教
授；2024 年 4 月～ 関東学院大学工学研究科客員教授，現在に至る。

大阪公立大学教授 瀧川 順庸

1993 年 3 月 東京大学工学部材料学科 卒業；1998 年 3 月 東京大学大学院工学系研究科 博士課程修了 博士(工学)；
1998 年 4 月～ 財団法人ファインセラミックスセンター；2004 年 4 月～ 大阪府立大学大学院工学研究科助教授；2007 年
4 月～ 同准教授2018 年 4 月～ 同教授；2022 年 4 月～ 大阪公立大学大学院工学研究科教授，現在に至る。

京都大学教授 邑瀬 邦明

1991 年 3 月 大阪大学工学部応用化学科 卒業；1993 年 3 月 大阪大学大学院工学研究科応用化学専攻 博士前期課程修
了；1996 年 3 月 大阪大学大学院工学研究科応用化学専攻 博士後期課程修了；1993 年 4 月～1996 年 6 月 日本学術振興
会特別研究員 DC1, PD；1996 年 7 月～ 京都大学大学院工学研究科助手；2004 年 11 月～ 京都大学大学院工学研究科助教
授；2012 年 1 月～ 京都大学大学院工学研究科教授，現在に至る。

兵庫県立大学准教授 福室 直樹

1994 年 3 月 東京都立大学工学部工業化学科 卒業；1996 年 3 月 東京都立大学大学院工学研究科応用化学専攻 修士課程
修了；1999 年 3 月 東京都立大学大学院工学研究科応用化学専攻博士課程修了；1999 年 4 月～2002 年 3 月 NTT アドバ
ンステクノロジー株式会社；2002 年 4 月～ 姫路工業大学工学部助手；2004 年 4 月～ 兵庫県立大学大学院工学研究科助
手；2016 年 4 月～ 兵庫県立大学大学院工学研究科准教授，現在に至る

視聴期間 2026 年 9 月 1 日(火)～9 月 30 日(水)

視聴方法 オンデマンド配信システム UIshare から視聴いただきます。

資料は同システムのウェブサイトからダウンロードいただけます。

視聴方法および資料のダウンロードの方法は受講申込みにメールで案内します。

申込方法 下記のサイトよりお申込み下さい。

①今年度初めての受講(2026 年 3 月 1 日以降)

<https://event.atlas.jp/ja/jimm/S0035>

②今年度 2 講座目以降の受講(前回受講の講座名と参加登録番号の入力が必要)

<https://event.atlas.jp/ja/jimm/S0036>

受講料

対象者	1 講座基本料金	2 講座目以降割引料金※
正 員	20,000 円	15,000 円
学 生	8,000 円	6,000 円
非会員	40,000 円	30,000 円

○本会維持員会社社員，協賛学協会会員は正員扱い。
○学生は会員，非会員の区別なし。

※本年度開催のオンライン教育講座またはオンデマンド配信を 2 講座以上受講する場合，2 講座目からは割引料金(25%割
引)となります。

本会の維持員社員が同一講座に 3 名以上でお申込みの場合，受講料が正員価格より 25%割引となります(お申込み前にご
相談下さい)。ただし，複数受講との重複割引はありません。

申込期間 2026 年 6 月 1 日(月)～9 月 8 日(火)

問合せ先 公益社団法人日本金属学会 セミナー・シンポジウム係

〒980-8544 仙台市青葉区一番町 1-14-32

E-mail: meeting@jimm.jp ☎ 022-223-3685 ☎ 022-223-6312

日本金属学会誌掲載論文

Vol. 90, No. 8 (2026)

——レビュー——

レビュー——カルシウム金属の製錬及び精錬方法

野村 要平

——論 文——

調質圧延による Nb 添加極低炭素薄鋼板の降伏点伸び
と降伏応力変化 楊 靈玲, 船川 義正, 佐藤 健太郎

Materials Transactions 掲載論文

Vol. 67, No. 8 (2026)

——Review——

Microstructure-Dependent Localized Corrosion Behavior and Formation of Corrosion-Resistant Coatings in Mg–Al–Zn Alloys: A Review

Masashi Nishimoto and Izumi Muto

——*Special Issue on Structural and Functional Materials Design based on Multi-Scale Architecture Analyses and Controls—Importance of Lattice Defects, Interfaces, and Interphase Boundaries—*——

PREFACE Yoshisato Kimura, Shigeaki Kobayashi,
Nobuaki Sekido, Koji Takana, Sadahiro Tsurekawa,
Hideki Hosoda and Kyosuke Yoshimi

Multilayer Structure Control for Improving Tensile Strength and Ductility in Electroformed Bulk Nanocrystalline Iron-Nickel Alloys

Shigeaki Kobayashi and Shuai Guo

Effect of Aging on Precipitation Behavior and Mechanical Properties of Ag-Added Ti–2Cr–9Sn Biomedical Shape Memory Alloy

Naoki Nohira, Yutong Jia, Aya Harashima,
Masaki Tahara and Hideki Hosoda

Engineering Magnetic Interactions to Achieve Low-Field Actuation in Ni–Mn–Ga Single-Crystal-line Particle Composites

Fumiya Tanaka, Takashi Harumoto, Masaki Tahara,
Volodymyr Chernenko, Ji Shi, Hideki Hosoda
and Wan-Ting Chiu

Systematic Modeling of Incommensurate Grain Boundaries in Magnesium Oxide via Farey Hierarchy

Kazutoshi Inoue, Mitsuhiro Saito, Shun Kondo,
Qian Chen, Kazuaki Kawahara and Yuichi Ikuhara

Performance of Thermoelectric Generation Module Using $\text{Mg}_2(\text{Si}, \text{Sn})$ -Based Thermoelectric Materials

Yonghoon Lee and Yoshisato Kimura

Dislocation Structures in $\{01\bar{1}2\}/\langle 2\bar{1}10 \rangle$ Low Angle Grain Boundary and Dissociation Reaction of $1/3 \langle 02\bar{2}1 \rangle$ Dislocation in $\alpha\text{-Al}_2\text{O}_3$

Eita Tochigi, Atsutomo Nakamura, Naoya Shibata
and Yuichi Ikuhara

Kink-Band Formation in the MAX Phase Ti_2AlC near a $\text{TiAl}/\text{Ti}_2\text{AlC}$ Interface during Nanoindentation

Nobuaki Sekido, Yuta Kimura, Seiji Miura,
Takahito Ohmura, Shuntaro Ida and Kyosuke Yoshimi

Mechanical Properties of Constituent Phases and Interfaces in a MoSiBTiC Alloy as Determined by Nanoindentation

Junfeng Du, Takahiro Kaneko,
Chihana Kudo, Shuntaro Ida, Eri Nakagawa,
Takahito Ohmura and Kyosuke Yoshimi

——Regular Article——

Microstructure of Materials

Effect of High-Pressure Shear Strain on ω Phase Formation in Pure Zirconium and Hafnium

Takahiro Masuda, Yongpeng Tang, Yuji Higo
and Zenji Horita

Effect of Mechanical Polishing on the Reconstructed Atomic Image of Cu Single Crystal in Fluorescent X-ray Holography

Tokujiro Yamamoto, Ten Nakamura, Tatsuya Inokawa,
Junpei Niki and Naohisa Happo

Mechanics of Materials

Role of Nano-Oxides in Suppressing Dislocation Loop: A Comparison of 12Cr-ODS Steels and Non-ODS Model Alloy

Zideng Wang, Zongda Yang,
Huiling Yang, John Andrew Kane Jovellana, Jingjie Shen,
Zhenbo Zhu, Liying Yao, Yi Han, Bo Li, Yosuke Nishimura
and Hiroaki Abe

Materials Chemistry

Hydrogen Permeation in Cracked Concrete Environments

Ryuta Ishii, Norihiro Fujimoto,
Shingo Mineta and Takashi Miwa

A Mineral Composition – Based Conceptual Approach for Predicting Sphalerite Depression in Flotation — Linking Mineral Composition to Depressant Dosage Selection through Copper Activation of ZnS

Kosei Aikawa, Mayumi Ito,
Nodoka Orii, Ilhwan Park, Naoki Hiroyoshi,
Taisuke Sakakibara and Naohito Hayashi

Electrochemical Determination of Residual Carbon in Copper Pipe Using Gel Electrolyte

Yuya Kawauchi, Hikari Watanabe, Isao Shitanda,
Masayuki Itagaki, Itaru Ikeda, Motoki Kuratani,
Noriyuki Tanaka, Yutaka Yamada, Fuka Takahashi
and Osamu Sakurada

Yttrium Oxyfluorides as Refractory Material for Induction Melting of Commercially Pure Titanium

Hidehiro Sekimoto, Yasunori Mogamiya
and Sadato Hiratsuka

Materials Processing

Punch Effects of Die Material and Tool Surface Finishing on Crack Width at Pierced Holes in Shearing of Amorphous Electrical Steel Sheets

Nanaka Takahashi, Tatsuhiko Aizawa
and Tomomi Shiratori

Synthesis Process for Heat-Resistant Pt-Pd-Rh Alloy Powders Using Molten Salt Method

Taro Morimoto, Hiroyuki Itoigawa, Hitoshi Takeya,
Toshio Kono and Tsutomu Yamamura

Environment

Comparative Study of Carbon Steel and Stainless Steel Media on Fracture and Morphological Characteristics of Glass during Binary Grinding

Chiharu Tokoro, Yuki Murata, Shozo Tanaka,
Osuke Hattori, Yutaro Takaya, Hidehiro Kamiya,
Kohei Komori and O Shourin

—Rapid Publication—

In-Situ Prepared ZnO@FCIP Composites for Electromagnetic Absorption

Xiangsheng Wu

Laser Powder Bed Fusion of a Hypereutectic Al-Cu Alloy and Its Application to the Development of a Hierarchical Porous Cu with Controllable Three-Scale Hierarchy

Hiroki Oka, Shaoyun Zhou,
Asuka Suzuki, Yusuke Asakura, Yusuke Yamauchi,
Junji Umeda and Makoto Kobashi

Erratum

Announcement



まてりあ 第65巻 9号 予告

特集「認知・感覚機能と調和するバイオ材料の創製～生きがいを支える医療材料の新展開」

〔入門講座〕永久磁石材料学の諸要素 第5回 保磁力の不安定平衡点モデルと熱活性化モデル(その1)

.....広沢 哲

〔入門講座〕低価格樹脂 3D プリンタの研究室での活用法 2(造形物の出力と研究室での活用法)

.....愛知教育大 北村一浩

—他—

(編集の都合により変更になる場合がございます)

✉ •「まてりあ」「Materials Transactions」電子版の閲覧には[会員マイページにある ID とパスワード](#)が必要です。こちらは定期的に更新されておりますので、ご確認下さいますようお願いいたします。



(2026年5月1日～2026年5月31日)

正 員

秋山和裕

岡島琢磨 大同特殊鋼株式会社

加藤 藍 日本重化学工業株式会社

杉田翔英 公益財団法人広島市産業振興センター

杉山匡生 株式会社レゾナック

千葉雅樹 東北大学

土田菜摘 名古屋大学

縄船泰輝 日本電子株式会社

学 生 員

板倉陽輝 東京海洋大学

伊藤魁星 大同大学

上原宏太 北海道大学

王 鵬 名古屋工業大学

須藤主馬 東北大学

チェンジュンイ 東京科学大学

土屋僚輝 北海道大学

富田 遼 大阪大学

白 宇陽 東京科学大学

藤澤憲浩 大阪大学

松本 学 名古屋大学

劉 浩東 東北大学

渡邊 真 東京大学

Lubis Muhammad Frassetia 京都大学

Restianingsih Tika 東京科学大学

外国一般会員

Lee Taekyung 釜山大学

行事カレンダー

太字本会主催(ホームページ掲載)

開催日	名称・開催地・掲載号	主催	問合せ先	締切
2026年 8 月				
3～9.2	オンデマンド配信：オンライン教育講座「金属材料の耐環境性(2)高温酸化・高温腐食の基礎—熱力学・速度論・高温強度—」(本号608頁)	日本金属学会	TEL 022-223-3685 meeting@jimm.jp https://jimm.jp/event/online/	8.7
3～9.2	オンデマンド配信：オンライン教育講座「金属組織学の基礎」(本号609頁)	日本金属学会	TEL 022-223-3685 meeting@jimm.jp https://jimm.jp/event/online/	8.7
5～6	第56回初心者のための有限要素法講習会第2部(演習付き)(京都)	日本材料学会	TEL 075-761-5321 jimu@office.jsms.jp https://www.jsms.jp/	定員 20名
6～7	デジタルラジオグラフィに関する技術講習会(大阪)	日本溶接協会	TEL 03-5823-6324 susumu_imaoka@jwes.or.jp	
9～13	The 12th Pacific Rim International Conference on Advanced Materials and Processing (PRICM12) (Gold Coast, Queensland, Australia)	Materials Australia (MA)	https://www.pricm12.org/contact.html	
18	第30回高校課題研究フォーラム(岡山)	日本セラミックス協会	https://www.ceramic.or.jp/about/education.html#forum	
18～23	The 10th Tokyo Conference on Advanced Catalytic Science and Technology (TOCAT10) (早稲田大)	触媒学会	tocat10@catsj.jp https://tocat.catsj.jp/10/timetable_glance/	
20～22	サマースクール2026「非線形有限要素法による弾塑性解析の理論と実践」(中央大+ハイブリッド開催)	日本計算工学会	http://msd.civil.tohoku.ac.jp/nonlinearfem2026/	8.5
24～25	第47回初心者のための疲労設計講習会(オンライン開催)	日本材料学会	TEL 075-761-5321 jimu@office.jsms.jp	8.10
25	熱測定講習会2026(東京理科大)	日本熱測定学会	TEL 03-6310-6831 netsu@mbd.nifty.com https://www.netsu.org/	
31～9.2	日本実験力学学会2026年度年次講演会(富山大)	日本実験力学学会	TEL 096-342-2702 office@jsem.jp https://www.jsem.jp/annual/	
2026年 9 月				
1～30	オンデマンド配信：オンライン教育講座「めっき：成膜法としての基礎と材料化学的アプローチ」(本号610頁)	日本金属学会	TEL 022-223-3685 meetinh@jimm.jp https://jimm.jp/event/online	9.8
1～2	第4回「水素が関わる材料科学の課題共有研究会」・第20回「水素若手研究会」(広島)(6号437頁)	研究会 No. 85	k.asano@aist.go.jp https://unit.aist.go.jp/epri/hius-s/ja/events/index.html	8.5
1～3	第23回 日本熱電学会学術講演会(TSJ2026)(九大)	日本熱電学会	TEL 092-583-7948 https://www.thermoelectrics.jp/conference.html	
2～4	2026年度高温材料の強度と組織設計研究会(金沢)(7号545頁)	研究会No.93	hightemp.maters.gr@gmail.com https://forms.gle/nUtTEE5eA7VirCRm9	
2～4	2026年度工学教育研究講演会(岐阜大)	日本工学教育協会	2026_jsee_conference@jsee.or.jp https://www.jsee.or.jp/event/conference/	
3～4	特定放射光施設シンポジウム2026(京都)	特定放射光施設 ユーザー協団体 (SpRUC)	TEL 050-3496-8833 users@spring8.or.jp http://www.spring8.or.jp/ja/science/meetings/2026/sp8sympo2026/	
3～5	第29回 XAFS 討論会(名大)	日本 XAFS 研究会	https://www.jxafs.org/conference/	
6～11	11th International Congress on Ceramics(札幌)	日本セラミックス協会	TEL 03-3362-5232 icc11@ceramic.or.jp https://www.ceramic.or.jp/icc11/	
8～10	資源・素材2026(福岡工業大)	資源・素材学会	https://pub.comfitatlas.jp/ja/event/mmij2026b	
9～11	トライボロジー会議2026 秋(名城大)	日本トライボロジー学会	2026nagoya@tribology.jp https://www.tribology.jp	
9～11	第9回 国際工業炉・関連機器展「サーモテック2026」(東京)	日本工業炉協会	TEL 03-3262-8410 info@thermotec-expo.com	
11	レアメタル研究会(東大生産技研/ハイブリッド開催)(本号601頁)	レアメタル研究会	TEL 03-5452-6314 okabelab@iis.u-tokyo.ac.jp https://www.okabe.iis.u-tokyo.ac.jp	
14～15	第273回塑性加工技術セミナー「有限要素法 入門セミナー」	日本塑性加工学会	https://www.jstp.jp/	
14～16	第39回計算力学講演会(大阪工大)	日本機械学会	TEL 03-4335-7610 https://www.jsme.or.jp/conference/cmdconf26/index.html	
15～17	2026年日本表面真空学会学術講演会(JVSS2026)(郡山)	日本表面真空学会	TEL 03-3812-0266 taikai2026@jvss.jp	
16	第366回塑性加工シンポジウム「塑性加工を支える金型・プレス設備寿命向上技術に関する最新動向」(名城大+ハイブリッド開催)	塑性加工学会	https://www.jstp.or.jp	80名 (対面)
16～18	第28回日本感性工学会大会(東京)	日本感性工学会	jske28@jske.org https://www.jske.org/conference/jske28/	
18	アノード酸化皮膜の機能化部会(ARS 部会)第120回例会—2026年度チュートリアル：アノード酸化の基礎—(工学院大)	表面技術協会・アノード酸化皮膜の機能化部会(ARS 部会)	ars@sfj.or.jp http://ars.sfj.or.jp/	9.4

開催日	名称・開催地・掲載号	主催	問合せ先	締切
22	学生ポスター発表プレ討論会(秋田大)(7号533頁)	日本金属学会	TEL 022-223-3685 annualm@jimm.jp	定員 30名
23	日本金属学会・日本鉄鋼協会秋期講演大会懇親会(秋田)(本号595頁)	日本金属学会	TEL 022-223-3685 annualm@jimm.jp	予約 8.31
23	第8回自動車関連材料合同シンポジウム「持続可能なモビリティ社会を実現する材料技術の最新動向」(秋田大)(本号596頁)	日本金属学会 日本鉄鋼協会	TEL 022-223-3685 secretary_gen@jimm.jp	
23~25	日本金属学会秋期講演大会・高校生ポスター発表(秋田大)(7号529頁)	日本金属学会	TEL 022-223-3685 annualm@jimm.jp https://pub.confit.atlas.jp/ja/event/jimm2026fall	事前参加 8.31
23~25	M&M2026 材料力学カンファレンス(阪大)	日本機械学会	https://pub.confit.atlas.jp/ja/event/mmdmpdconf2026/content/outline	
24~25	第18回 役に立つ真空技術入門講座(大阪公立大+ハイブリッド開催)	日本表面真空学会 関西支部	TEL 079-267-4877 syoin-yakunitatsu@jvss-kansai.jp https://jvsskansai.smoosy.atlas.jp/ja/nyumon18	9.10
25	日本鉄鋼協会・日本金属学会第15回女性会員のつどい(秋田大)(本号598頁)	日本金属学会	TEL 022-223-3685	
25	レアメタル研究会 シンポジウム(東大生産技研/ハイブリッド開催)(本号601頁)	レアメタル研究会	TEL 03-5452-6314 okabelab@iis.u-tokyo.ac.jp https://www.okabe.iis.u-tokyo.ac.jp	
28~29	第77回塑性加工連合講演会(香川大)	日本塑性加工学会	TEL 03-3435-8301 http://www.jstp.or.jp	
28~29	オンライン教育講座「材料組織弾性学の基礎と応用」(本号606頁)	日本金属学会	TEL 022-223-3685 meeting@jimm.jp https://jimm.jp/event/online/	9.14
2026年10月				
1~30	オンデマンド配信: オンライン教育講座「凝固の科学」(本号607頁)	日本金属学会	TEL 022-223-3685 meeting@jimm.jp https://jimm.jp/event/online/	10.8
5	第261回西山記念技術講座「実測データに基づいたプロセス制御・計測技術」(早稲田大)	日本鉄鋼協会	TEL 03-3669-5933 educact@isij.or.jp https://www.isij.or.jp/event/event2026/nishiyama261.html	9.3
6	第19回フラクトグラフィシンポジウム(京都)	日本材料学会	TEL 075-761-5321 fractosym@jsms.jp http://www.jsms.jp/	講演 7.31
6~7	第7回 EBSD 法による損傷評価講習会	日本材料学会	TEL 075-761-5321 jimu@office.jsms.jp http://www.jsms.jp/	9.11
6~9	第12回材料 WEEK(京都)	日本材料学会	TEL 075-761-5321 jimu@office.jsms.jp http://www.jsms.jp/	
7~9	Advanced Metallization Conference 2026 (ADMETA)(東京・オンライン)	応用物理学会	TEL 03-5962-3145 jimukyoku@admeta.org https://www.admeta.org/	
8	金属学会講習会「～電気化学インピーダンス測定・解析の基礎と応用: 電池から腐食まで～」(阪大)(本号605頁)	日本金属学会	TEL 022-223-3685 meeting@jimm.jp https://jimm.jp/event/symposium/seminar.html	9.29
19~23	ACSIN-16/ICSPM34(姫路)	応用物理学会	TEL 079-267-4909 heya@eng.u-hyogo.ac.jp https://dora.bk.tsukuba.ac.jp/event/acsin16/	
21~23	第73回材料と環境討論会(札幌)	腐食防食学会	TEL 03-3815-1161 ysm.hng-113-0033@jcorr.or.jp https://www.jcorr.or.jp/yotei/731021.html	
22~23	第62回 X 線分析討論会(松江)	日本分析化学会 X 線分析研究懇談会	https://xbun.jsac.jp/conference/no62.html	
26~27	第25回アコースティック・エミッション総合コンファレンスー“音や振動”で拓くNDEの最前線ー(北大)	日本非破壊検査協会	TEL 03-5609-4015 yasoshima@jsndi.or.jp https://sciences.jsndi.jp/acoustic/	
28~29	第54回日本ガスタービン学会定期講演会(下関)	日本ガスタービン学会	TEL 03-3365-0095 gtsj-office@gtsj.or.jp	
2026年11月				
1~6	【Lead-Zinc 2026】11 th International Symposium on Lead and Zinc Processing 第11回鉛-亜鉛製錬に関する国際シンポジウム(仙台)	資源・素材学会	TEL 03-3402-0541 lead-zinc2026@mmij.or.jp	
5	スマートプロセス学会2026年度学術講演会(大阪)	スマートプロセス学会	TEL 06-6879-8698 sps-office@smartprocess.or.jp	
6	第262回西山記念技術講座「実測データに基づいたプロセス制御・計測技術」(大阪+ハイブリッド)	日本鉄鋼協会	TEL 03-3669-5933 educact@isij.or.jp https://www.isij.or.jp/event/event2026/nishiyama261.html	9.3
6	レアメタル研究会・チタンシンポジウム(東大生産技研/ハイブリッド開催)(本号602頁)	レアメタル研究会	TEL 03-5452-6314 okabelab@iis.u-tokyo.ac.jp https://www.okabe.iis.u-tokyo.ac.jp	
8~13	The 12th International Conference on Multiscale Materials Modeling(韓国済州)	KIM(The Korean Institute of Metals and Materials)	TEL +82-2-573-6207 secretariat@mmm12.org https://www.mmm12.org/	

開催日	名称・開催地・掲載号	主催	問合せ先	締切
9～11	第37回疲労シンポジウム(伊勢)	日本材料学会	TEL 075-761-5321 jimu@jsms.jp http://fatigue.jsms.jp	
10	公開シンポジウム「大型プロジェクトによるバイオマテリアル研究開発」(神戸)	日本学術会議材料工学委員会・同バイオマテリアル分科会	nakano@mat.eng.osaka-u.ac.jp	
11～13	第47回超音波エレクトロニクスの基礎と応用に関するシンポジウム(北九州)	超音波エレクトロニクス協会	TEL 03-3259-0766 steering@use-jp.org https://www.use-jp.org/USE2026/sponsor/index.html	
13	第28回ミレニアム・サイエンスフォーラム(東京)	ミレニアム・サイエンス・フォーラム	TEL 03-6744-4713 msf@oxinst.com https://www.msforum.jp/	
13～15	軽金属学会第151回秋期大会(水戸+ハイブリッド開催)	軽金属学会	https://www.jilm.or.jp/convention/index	
17	第66回「現場の硬さ試験」講習会(東京都大)	日本材料試験技術協会	TEL 047-431-7451 gyomu2@ystl.jp	10.22
21～23	第47回日本熱物性シンポジウム(東京科学大)	日本熱物性学会	info2026@jstp-symp.org https://jstp-symp.org/symp2026/	
21～23	第62回熱測定討論会(東京科学大)	日本熱測定学会	TEL 03-6310-6831 netsu@mbd.nifty.com https://www.netsu.org	
24～26	第55回結晶成長国内会議(JCCG-55)(北大)	日本結晶成長学会	TEL 070-5047-3339 jccg-55@jacg.jp https://www.jacg.jp/jp/event/2026/jccg-55/index.html	
26～27	第64回高温強度シンポジウム(奈良)	日本材料学会	TEL 075-761-5325 jimu@office.jsms.jp http://www.jsms.jp/	参加 10.16
2026年12月				
2～4	日本中性子科学会第26回年会(九大)	日本中性子科学会	TEL 092-871-6631(6241) jsns2026@fukuoka-u.ac.jp	
3～4	第35回新構造・機能制御と傾斜機能材料シンポジウム(FGMs 2026)(北大)	傾斜機能材料研究会	https://fgms.net/event-info/domestic-symposium/	
8～9	第32回「エレクトロニクスにおけるマイクロ接合・実装技術」シンポジウム(Mate2026)(横浜)	スマートプロセス学会他	TEL 06-4798-2078 mate@glm-p.com https://sps-mste.jp/mate/	6.30
14～16	第52回固体イオニクス討論会(九州)	固体イオニクス学会	TEL 022-217-5341 ssij@ssj-j.org https://www.ssi-j.org/symp/ssij52/	事前 10.30
2027年1月				
8	レアメタル研究会・貴金属シンポジウム(東大生産技研)(本号602頁)	レアメタル研究会	TEL 03-5452-6314 okabelab@iis.u-tokyo.ac.jp https://www.okabe.iis.u-tokyo.ac.jp	
2027年3月				
8～10	日本金属学会春期講演大会(東京科学大学大岡山キャンパス)	日本金属学会	TEL 022-223-3685 annualm@jimm.jp	
17～19	2027年塑性加工春季講演会(日大)	日本塑性加工学会	TEL 03-3435-8301 http://www.jstp.or.jp	
12	レアメタル研究会(東大生産技研/ハイブリッド開催)(本号602頁)	レアメタル研究会	TEL 03-5452-6314 okabelab@iis.u-tokyo.ac.jp https://www.okabe.iis.u-tokyo.ac.jp	
2027年6月				
14～18	第11回世界製鉄会議(ICSTI 2027)(札幌)	日本鉄鋼協会	TEL 011-272-2151 icsti2027@c-linkage.co.jp https://www.icsti2027.com/	
2027年9月				
22～24	日本金属学会秋期講演大会(広島大学東広島キャンパス)	日本金属学会	TEL 022-223-3687 annualm@jimm.jp	



新刊紹介

『動かして理解する 第一原理量子モンテカルロ計算』

前園 涼 著

2025年 B5サイズ 304頁 森北出版 定価(本体5,400円+税)

まてりあ 第65巻 第8号(2026) 発行日 2026年8月1日 定価1,870円(本体1,700円+税10%)送料320円

発行所 公益社団法人日本金属学会

〒980-8544 仙台市青葉区一番町一丁目14-32

TEL 022-223-3685 FAX 022-223-6312

発行人 谷山 明

印刷所 小宮山印刷工業株式会社

発売所 丸善雄松堂株式会社

〒104-0033 東京都中央区新川 1-28-23